



# 道 路 所 感

## 談 叢

一宮房次郎

余は先月内務大臣代理として桑名に於て揖斐、長良兩大河川の架橋起工式に臨んだ。桑名は一號國道の要衝に當り名古屋から汽車で二三十分にして達する所である。然るに自動車にて其間を往來せんとすれば美濃大垣を迂回して數時間を要する。そは此の兩都市間は、夙くに一號國道に指定されてゐる東海道の要衝ではあるが、木曾、長良、揖斐の三大河川が其間に横はつて、それにまだ橋梁が架せられて居ず、今尙ほ舊式の渡船で連絡して居ると言ふ有様である。是れが古來有名なる東海道の大交通道路であると同時に、帝都と伊勢大廟とを連絡する國道であるのである。假令汽車の便利はあると言ひながら、此の二十世紀のスピード時代に肝甚な一號國道を僅か數十哩を行くのに、三箇所も渡船で行かなければならぬといふは何たる時代錯誤であらふ。是れ實に我國の道路行政が如何

に幼稚で、遅々たるものであるかを雄辯に物語る一資材である。東京から京阪或は伊勢神宮に參る我國唯一の幹線道路を、自動車で一直線に疾走して目的地に達することを得ず、靜岡縣に於ては濱名湖畔を迂回し、名古屋、伊勢間に於ては大垣、岐阜を遠廻りしなければならぬといふことは、五大強國の一として文化を世界に誇つて居る我國民の一大恥辱であると謂はねばならぬ。

我國の交通機關中に於て、鐵道及び軌道は比較的發達して居る。今や山村水廊に到る迄、汽笛の音を聽くか、電車の轆音を聞き得ない所は少ない。併し道路の甚だ不完全であることは、既に前述の通りである。蓋し鐵道や電車は法人又は會社企業として適當なる放資事業であるが故に、企業勃興時代に著しき發達をして今日の如き隆盛を見るに至つたのである。所が道路は恰も空氣や水の如く人生及び社會に必要缺くべからざるものではあるけれども、餘りにそれが公共的であり、大衆的であつて、個人的營利企業として不適當である爲に、却つてその發達が遅々として進まなかつたのであらう。併し時勢は移り、文化は進歩する、我國の鐵道及び電車の發達も最早漸く飽和状態に近づいて、幹線又は特殊の線路を除いては、其經營が行詰まり、非常なる窮況に陥つてゐる。最早や鐵道軌道は其隆盛時代を經過したかに見える。今や自動車やトラックが鐵道及び軌道の恐るべき競争者として現出し、鐵道軌道の勢力範圍を漸次に侵略しつゝある、自動車、トラックの時代が汽車、電車時代に代らんとして居るのである。否、歐米諸國に於ては已に之に代りつゝあるのを見る。たゞ我國に於ては道路が餘りに不完全であつたが爲に、歐米諸國の如く、自動車、トラックの運用が自由自在ではない。

れども既に多くの地方に於ては、鐵道軌道に依れる旅客貨物が漸次に自動車に奪はれつゝある、自動車時代の現出は時代の趨勢であり、又社會の要求である。果して然らば道路を完備し、改良し、此の新しく現出した新交通機關の機能を發揮せしめ、其の運用を圓滑ならしむることに努むるは、國家當然の政策であると謂はねばならぬ。

此の意味に於て道路の整備、改良に向つて我國交通政策の新轉換を試みるは最も機宜を得たる措置である、と謂はなければならぬ。「戸口より戸口へ」といふ標語は、今日に於ては鐵道の小口扱に利用されて居るけれども、それは自動車運輸に適用さるべき最も適切なる言葉である。是れ有るが爲に約七十哩内外の貨物輸送は、寧ろ鐵道よりもトラックの方が便利であるとされて居る、積換へ、荷役等の煩瑣は鐵道の利益を大に減殺し、その費用を増加せしむる、之に反し自動車は眞に「戸口から戸口へ」直送して此煩累と無益なる費用とを要しない。長距離及び大量輸送に於ては鐵道の利便を認めない譯に行かないが、短距離輸送に於ては自動車の長所を認めなければならぬ。隨つて鐵道の短所を補ふ爲に自動車の發達を圖るのは、交通政策必然の要求であつて、之が爲に道路を改良し、此の新交通機關の運用に便利ならしめるやうに大に努めなければならぬ。或は我國は山嶽重疊平坦の地に乏しい道路の發達、自動車の運用等に於て少からざる不便があると言ふ者があるかも知れないが、近來道路技術の發達は險峻なる山を平坦なる道路と化し、自動車、トラックの運用に支障なからしむるに容易なるは、鈴鹿峠の大國道に見ても明かである。自分は先月鈴鹿の嶮を越えて滋賀縣に自動車を

ドライブしたが彼の峻峻なる鈴鹿峠も全く坦々たる大道と化して平原を疾驅すると何等の變りはない。若し國家及び公共團體がいま少しく道路行政に意を用ひ國道、府縣道の改修改良に努めたならば如何なる山村僻地と雖も縦横に自動車及びトラックを運行させ得べく、其の産業及び文化に及ぼす影響は今日より更に顯著なるものがあるであらうと思ふ。吾々は此の時代の趨勢に眼覺めていま少しく道路の改良に留意し、自動車及びトラックといふ新しき交通機關の利用にいま一段の工夫を爲すことに努めなければならぬ。

此の時に當つて失業救済の目的として千數百萬圓の道路公債が發行せられて國道及び府縣道の改良補修に向つて充當されることになつたのは、道路政策上の一大福音と謂はなければならぬ。不完全なる國道幹線も之に依りて、大に改良を見るに至るべく、大都市間の道路交通は之によりて全くその面目を改むべく、府縣道も亦補修改良の補助を得、新時代に應ずる改良を見るに至るべく、而して之に伴うて自動車、トラックの發達となり、我國の産業文化に一大貢獻をなすに至るべきは、正に刮目に値するものがあるであらう、願はくばこれにより我が國道路政策の上に一新紀元を劃するに至らんことを。